

碧空

へきくう ～頂の上の青～

帯広市立帯広第四中学校 学校だより No. 3
平成29年 6月2日発行 発行者 校長 辻 敦郎

教育テーマ 『静かな時間の創造』
今年度重点 『連帯感』

一人ひとりが輝いた体育祭！



昨年、秋に大幅なグラウンド修繕があってから最初の体育祭。9時、実行委員長の笛の合図で第67回体育祭が幕を開けました。今年のテーマは「仲間とつなぐこの瞬間 熱い心はFly away!」10日足らずの短い練習期間でしたが、各学級何度も何度も壁を乗り越え集団の団結力を練り上げてきました。学校行事の中でも、心身ともに大きく成長するのが体育祭。今年も一人ひとりがグラウンドいっぱいに輝き、大きな成果を上げて終えることができました。

開会式では、生徒会長に続き、運動委員長の選手宣誓も力強いものでした。各学年の団体競技が始まると、互いに声を掛け合い必死に頑張る姿、仲間を応援する姿、観客席からの盛んな拍手が随所に見られました。午前最後の競技は、「部活動等対抗リレー」。PTA 役員や教職員チームで生徒達と真剣勝負を行いました。

12時00分からの昼食は十勝ならではのお弁当の時間となりました。家族や親戚が集まって和やかな雰囲気グラウンドいっぱいに広がっていました。人と人とのつながり、絆の深さを改めて感じさせてくれる一場面でした。当日朝早くからお弁当づくりに忙しかったお母さん、家族の皆さん、ありがとうございました。

午後の部最初は、今年度初めての「四中体操」。ネーミングはかつての組み体操を連想させますが、現代版で復活しました。全員の気持ちを一つにグラウンドに大きなかけ声と地響きが交錯。学級対抗全員リレーは抜きつ抜かれつ必死の形相でバトンをつなぎました。体育祭最後は四中伝統の「よさこいソーラン」。



青い大空にこだまする威勢のいいかけ声と鳴子の響き、そして保護者席からの盛大な拍手で会場が一気に盛り上がりました。四中生に大きな声援を受け一人ひとりが輝いた体育祭でした。

ご来賓の嶋崎教育長様、近隣3校の校長先生、教頭先生やPTAの皆様、安全に配慮していただいた交通安全協会、駐車場の整理や見回りに当たっていただいたPTA役員、会場を埋め尽くし歓声を送っていただいた保護者地域の皆様など、多くの皆様に厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。今後も四中生に変わらぬご声援宜しく願いいたします。



10年前のPTA「ある日の会」の方々が、コーヒーなどの飲み物販売をしてくださいました。収益金を今後の四中の環境整備にということで、朝早くから準備していただきました。PTAを離れても、学校を応援していただけることに感謝しております！